

# 激動の2017年決戦へ!

2016年12月14日  
No.429

Tel 03-3651-4861  
mail\_cn001@zengakuren.jp  
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信



写真は12日夕方の京都市内デモ。大注目の中、飛び入りも続々!

## 斎藤委員長の昼集会アピール!

私の法政大学では、もうビラをまくことも禁止されています。そういう大学の中で退学処分を受けて以来、多くの方の支援をもらって全学連の委員長として活動しています。

いまこの京都大学で起きている、僕らが建てたものではないですけどこの看板(クスノキ前の巨大看板)をめぐる攻防や、学内をめぐる様々な問題、いまこの場で当局が署名を受け取らない、それが大学の意思なんだと、それでいいんだという風に学生課長が言い張ってます。そういう何かおかしいことがあった時に、みんなが声を上げ



ても聞かない、聞かないなら仕方ないかなって諦めていくってことがずっと続いた結果、社会は一体どうなっていくのか。

いま過労死・過労自殺問題とか色々言われていますけど、それで本当にいいのかという思いはみんなあるんじゃないでしょうか。私たちは、こういう大学の在り方から今の社会の腐った在り方が生まれていると思っています。

何より京都大学は、自由の学風ということを書いて、日本の社会の中で大きな位置を占めてきた

大学であることは皆さん自身が一番知っていると思います。そういう誇りをもって京都大学に通っている学生がたくさんいると思っています。だからみなさん。今のこの大学の在り方に対して、やっぱり声を上げようじゃないですか。

今までどおり、スルーして、授業やバイトで日常は忙しいし、だから仕方がないかとなって、結果スルーしてスルーして、スルーしきれない人が矛盾を受けて、そしてどんどん矛盾を受ける人が増えていく。そうやって今のような状況があるんじゃないでしょうか。

私たちはこれを何としてもひっくり返したいと思っています。だから昨年全学連と同学会は、もちろん戦争反対派メインのスローガンですが、何よりもこの大学の日常を問題にしたいくてあのストライキを行いました。

大学は学生がいなかったら単なるコンクリートの塊です。僕らが日々授業に出ることも、もしくはデモをやることも含めて大学の在り方を決めていくべ



昼は被処分者を先頭にクスノキ前で集会！



京大当局は集まった8831筆の処分撤回署名の受け取りを拒否！

きなんだと僕らは思っています。

ストライキという形で私たちが意思を示し、そしてそれに対して京都大学では50年ぶりだと言われていますけど無期停学処分を4人の学生が受けるということの中で、今の社会の根本的な問題が含まれていると思います。

この4人に対する処分は、全ての学生に対する処分です。政治活動にかかわったり、おかしいという声をあげれば処分されちゃうんだよ、仕方ないんだよ、だから黙ってろ、そういうメッセージじゃないんですか。そんなものに僕らが従っていいんですか。その先に本当に未来はありますか。

ぜひ処分撤回のために、多くの人に力を貸してほしいと思っています。本日これからデモに出ています。3コマをストライキして、みんなで京都じゅうを埋め尽くすような京大生と全国学生のデモを始めたいと思っています。

韓国ではそういう闘いが始まりつつあります。僕らも同じように、社会の矛盾に立ち向かった若者たちに学んで、一步を踏み出していきましょう。ありがとうございました。



学内デモ（上写真）一京大包围デモ（下写真）を貫徹！

